

1 調査日 平成22年11月9日（火）～11月11日（木）

2 調査の概要

11月9日（火）

（1）長崎県精神医療センター（長崎県大村市）

医療観察制度は、心神喪失または心神耗弱の状態、重大な他害行為を行った人の社会復帰を促進するための制度であり、国では医療観察法に基づく指定入院医療機関の整備を全国で800床程度とし、原則としてすべての都道府県において整備を目指しているところである。

長崎県精神医療センターでは、平成20年4月に医療観察法病棟を新設され、指定入院医療機関の指定を受けたところである。

滋賀県でも、本年9月定例会で補正予算を計上し、指定入院医療機関の指定に向けた整備を県精神医療センターにおいて進めており、その参考とするため、指定入院医療機関としての長崎県精神医療センターにおける施設の概要、人員配置、危機管理体制等について調査を行った。



11月10日（水）

（2）長崎県議会（長崎県長崎市）

長崎県は、大陸との交流の歴史が古く、西洋にも開かれた窓口として特色ある地域文化をはぐくむとともに、美しい海岸線などの自然や温泉、新鮮な農水産物等、豊かな観光資源に恵まれ、全国有数の観光地となっている。特に、本年は、NHK大河ドラマ「龍馬伝」が放映されている効果もあり、観光客数は更に増加しているところである。



また、九州新幹線鹿児島ルートが来年に全線開業されることもあり、龍馬伝効果の継続と歴史・食・文化を生かした取組、東アジアを中心とする海外観光客の誘致などを柱とした「2011交流拡大プロジェクト」を本年6月定例会の補正予算で計上したところである。

滋賀県においても、本年度に観光交流局を新設し、外国人旅行者の誘致を進めてい

るところであり、また、来年にNHK大河ドラマ「江～姫たちの戦国～」が放映予定で、観光客数の増加が期待されるとともに、その効果の継続が課題の一つとなっていることから、長崎県における2011交流拡大プロジェクトの取組について調査を行った。

(3) 佐賀県立九州シンクロトロン光研究センター（佐賀県鳥栖市）

佐賀県立九州シンクロトロン光研究センターは、滋賀県内では立命館大学、また、国内の既存施設が国の研究機関や大学によって設置されているのに対し、地方自治体が設置する初めての施設となっている。このため、当研究センターでは、シンクロトロン光の産業利用を目指した応用研究を中心に据えて、その成果を新しい産業の創造や地域産業の高度化に生かすことを目的としている。また、「優秀な人材の集積」、「多様な産学官連携拠点の形成」、「先端科学技術を担う人材の育成」、「科学技術への理解の促進」を基本方針としているところである。



佐賀県立九州シンクロトロン光研究センターにおける放射光を利用した産学官の連携の取組等について調査を行った。

(4) 筑前町立大刀洗平和記念館（福岡県朝倉郡筑前町）

筑前町立大刀洗平和記念館は、筑前町における戦禍の歴史と平和の大切さを後世に伝えるため、個人により運営されていた平和記念館を新たに筑前町立として昨年度に開館されたところである。館内では遺族から収集した特攻隊員の遺影や家族への手紙のほか、旧日本陸軍97式戦闘機、旧日本海軍零式艦上戦闘機など約1,800点が展示されている。



滋賀県においても平和祈念館（仮称）を開館する予定であり、その参考とするため、展示内容等について調査を行った。

11月11日（木）

(5) 福岡県議会（福岡県福岡市）

福岡県では、救急搬送時間の短縮による救命率の向上や後遺症の軽減、へき地における救急医療体制の強化、災害時の医療救護活動の充実を目的に、久留米大学病院高度救命救急センターを基地病院として、平成14年から福岡県全域を対象にドクターヘリの運航を開始し、平成15年からは、佐賀県全域に、現在は、大分県の一部にも共同運航をしているところである。

また、ドクターヘリ事業を実施するため、消防機関、医師会、関係医療機関、関係行政機関の委員より構成した委員会を設置して、関係機関の協力体制をとるよう努めているところである。

滋賀県においても、大阪府のドクターヘリを共同利用する予定であることから、その参考とするため、ドクターヘリ事業および他県との共同運航の実施状況について調査を行った。

